

# 2022. 10月8日[土]—12月4日[日]

開館時間：9時30分～17時（入場は16時30分まで）

休館日：月曜日、10/11[火] \*10/10、11/7の月曜は開館

主催：北海道立三岸好太郎美術館

札幌に生まれた三岸好太郎（1903-34年）は、31歳で急逝するまでエネルギーに富んだ創作活動を展開した日本近代洋画史上に残る画家の一人です。その三岸芸術を紹介する当館では、2018年度より、北海道ゆかりの優れた若い作家を紹介するシリーズ企画「mima-no-me #みまのめ」をスタートしました。

8回目となる今年も、20代から30代の4名の作家を紹介します。拡散、収束を繰り返す放射状の形態をさまざまな支持体に描き出し、命の蠢きや、宇宙の広がりを感じさせる空間を表現する石川潤、作家が感じた不思議さや不気味さを可愛らしいキャラクターに託して表現する小林龍一、ふとした日常の片隅に人の痕跡を感じ、緻密な描写で描き上げる仲村うてな、リアルに描かれた人物を中心に、画家が日常で遭遇した様々な事象や心情を風景として織り込む安田祐子など、それぞれのテーマを深く掘り下げて表現し、活躍の場を広げつつあります。4作家の作品を一堂に展覧する本展を通じ、才能あふれる若き芸術家の「今」をご覧いただければ幸いです。

なおこの展覧会は、道内の美術館がネットワークでつながり、若い作家たちへの活動の場の提供などによって、北海道全体がアートの舞台となることを目指す「アートギャラリー北海道」事業の一環として開催するものです。



1



2



3



4



アートギャラリー北海道 2F展示室

mima-no-me  
#みまのめ

VOL. 8

ART GALLERY  
HOKKAIDO



5



6



7



8

観覧料：一般510 (420) 円 高大生250 (170) 円 中学生以下・65歳以上無料

\* ( ) 内は10名以上の団体料金

\* 上記料金で1F「蝶を追いかけて」展・2F「#みまのめ」展の両方をご覧いただけます

\* 身体障害者手帳や療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方（ミライID利用可）およびその介護者（1名）などは無料

\* 高校生は毎週土曜日および学校の教育活動で利用する場合は無料

1 小林龍一《deer》2022年

2 小林龍一《bear》2022年

3 安田祐子《いつか儚い空》2022年

4 安田祐子《空のクロニクル》2020年

5 仲村うてな《存在/虚と実》2021年

6 仲村うてな《何処かの》2019年

7 石川潤 個展風景 2014年

8 石川潤 個展風景 2021年



## 交通案内 Access

- 北海道立近代美術館から、東へ徒歩3分。
- 地下鉄東西線「西18丁目」駅下車、4番出口より徒歩7分
- バス：JRバス・中央バス（札幌駅⇨小樽・手稲方面）  
「道立近代美術館」下車、徒歩4分
- バス：JRバス（桑園駅⇨啓明ターミナル）  
「北3条西15丁目」下車、徒歩1分
- タクシー：札幌駅から5～10分  
（「知事公館」の北側、北3条通り）とお伝え下さい
- 駐車場：美術館駐車場（2台可。うち1台は障害者等用。無料）  
ビッグシャイン88北1条駐車場（北1西15、有料・割引あり）

mima 北海道立三岸好太郎美術館  
MIGISHI KOTARO MUSEUM OF ART, HOKKAIDO

〒060-0002 札幌市中央区北2条西15丁目  
TEL.011-644-8901

テレフォンサービス TEL.011-621-7000

@Kotaro\_Art

<https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/mkb/>

会期中の展覧会イベント情報や、新型コロナウイルス感染症対策の詳細・最新情報につきましては、美術館ウェブサイトでご確認ください。

